

静岡県本部だより

2025.4

VOL.
48

「小さな親切」運動

SMALL KINDNESS MOVEMENT SHIZUOKA



「あいさつ運動」協力校

つながるあいさつ ひろがるえがお



富士市立鷹岡中学校 鷹岡小学校 天間小学校

主催 「小さな親切」運動静岡県本部
後援 静岡県教育委員会・静岡県校長会・静岡県PTA連絡協議会

2024年度下期の活動報告 (2024年10月～2025年3月)

「小さな親切」実行章の推薦と贈呈 P1

「小さな親切」運動表彰式の開催 P2

作文コンクール P3・4

2024年度あいさつ運動活動報告 P5・6

グリーン作戦・福祉施設支援事業 P7

里山づくり・棚田保全活動 P8

支援活動 P9

収集活動 P9・10

広報活動 P10

「小さな親切」実行章推薦用紙 P11



「小さな親切」実行章贈呈事業 「小さな親切」実行章の推薦と贈呈

皆さまの身近にいらっしゃる、「親切な行い」や「思いやりある行い」「心あたたまる行い」をされた方々に、感謝の気持ちを込めて賞状を贈る実行章贈呈事業は、地域社会に思いやりの心を広げていく活動です。

2024年度下期は、団体17先、個人41名へ「小さな親切」実行章を贈ることができました。

「小さな親切」実行章は、いつでも、どなたでも推薦できます。日常の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ、だれが、どのような親切をされたか」をご記入のうえ、県本部事務局までご連絡ください。

推薦用紙は県本部のホームページまたは本冊子P11の推薦用紙をご利用ください。



【2024年10月23日贈呈式】
2024年9月受章
村田 教子 様
プレゼンター:高林 宏治 支部長
(静岡銀行豊田支店 支店長)

人の役に立ちたいという思いから、長年にわたり、ボランティアとして、地元の交番や警察署、老人ホームに「花の定期便」として生け花を届け、署員や入所者、来訪者の心を癒し、和ませています。



【2025年1月23日贈呈式】
2025年1月受章
静岡市立井川小中学校 様
プレゼンター:横山 達也事務局長
(「小さな親切」運動県本部 事務局長)

地元の高齢者生活福祉センターにボランティアで年に数回訪問して、歌やゲーム、会話を通じて楽しいひとときを過ごし、高齢者とのふれあいを大切に活動をし、長年にわたり続けています。



【2025年3月12日贈呈式】
2025年2月受章
焼津市立港小学校 福祉委員会 様
プレゼンター:内藤 義晴 支部長
(静岡銀行焼津支店 支店長)

アフガニスタンの子ども達の学習を支援するため、卒業生から寄せられたランドセルに、校内に寄贈を呼びかけて集めた新品文房具を入れ、ペルシア語で書いた手紙を添えて、海外支援団体に送りました。

2024年度下期 実行章受章者一覧

受章月	個人名・団体名	受章月	個人名・団体名	受章月	個人名・団体名
10月	医療法人財団新六会 大富士病院 静岡市立美和小学校1・2年生		川上 舞桜 小川 羽千春		伊藤 昂祐 秋山 治士
11月	静岡市立清水小島中学校 生徒会 アルカディア 佐鳴台店 榎沢ふれ愛ガーデン	1月	杉山 美咲 小川 温太郎 榛葉 冴羅	2月	鎌瀧 心大 原 直生 高橋 佑有奈
12月	熊谷 采音 高柳 光雄 小野田 薫 吉野 公英 高園青葉会 富士市立大淵中学校		藤下 佑樹 藤村 詔三 古橋 はま 藤枝市立青島北中学校 生徒会 静岡市立井川小中学校		袴田 莉登 袋井市立周南中学校2年生 みしま学生ボランティア 庵原子どもボランティア隊 吉田特別支援学校駿遠分教室 中学部 生徒会 浜松市立佐久間中学校 生徒会 焼津市立港小学校 福祉委員会
1月	森上 楨 石橋 いろは 池ヶ谷 慧真 萩原 希心 村松 蒼唯 白鳥 桔平 小山 美緑 太田 みゆな 佐藤 真由	2月	山田 好洋 白鳥 心椰 宮達 廉 伊藤 紗来 岡田 倫太郎 三木 萌苺加 増田 結斗 高坂 暖向 鈴木 大杏 富田 竣太	3月	望月 房子 山田 晴代 湯川 由紀子 田中 直統 富士ツバメ株式会社 浜松市立積志小学校 交通ボランティア

(受章日順・敬称略)

広報活動

第20回「小さな親切」運動表彰式の開催

2024年11月28日(木)、静岡銀行研修センターを会場に、第20回「小さな親切」運動表彰式を開催し、「あいさつ運動協力校への感謝状贈呈」と「作文コンクール入賞者の表彰」を実施しました。当日は、県本部役員、受賞者、関係者の皆さま約70名の方々にご参加いただきました。

表彰式では、県本部による活動報告の後、2023年度から2年間あいさつ運動に取り組んでいる協力校13校(内出席8校)に対する感謝状の授与、作文コンクール入賞者及び学校賞受賞校への表彰状の贈呈を行いました。また、あいさつ運動協力校を代表して富士宮市立芝川中学校区4校の先生方による活動報告や、作文コンクール県知事賞受賞者2名による作文の朗読が行われました。

「小さな親切」運動静岡県本部では、青少年(小・中学生)の心の育成事業として、あいさつ運動実践活動の推進や「小さな親切」作文コンクールを実施しています。



開会あいさつ
静岡県本部 八木代表



来賓あいさつ
静岡県 森副知事



感謝状の授与
2023年度指定あいさつ運動協力校



富士宮市立芝川中学校区の皆さまによる
あいさつ運動の発表



閉会あいさつ
静岡県本部 御室副代表



司会
静岡朝日テレビ 白木アナウンサー



あいさつ運動協力校贈呈式出席者記念撮影

青少年心の育成事業

静岡県本部主催 第12回「小さな親切」作文コンクール

静岡県本部主催第12回「小さな親切」作文コンクールを開催しました。テーマは「小さな親切」とし、親切な出来事に触れた時の人の温かさや心の動きを綴った作文を県内の小・中学生を対象に募集しました。本年度は小中学校合わせて111校から2,778編（小学校340編、中学校2,438編）の応募があり、審査員による厳正な審査の結果、各賞を決定しました。

11月28日（木）に行われた第20回「小さな親切」運動表彰式の席上で入賞者・学校賞（作品の応募の多い小・中学校）の表彰、県知事賞受賞者による作文の朗読を実施しました。

本年度も第13回「小さな親切」作文コンクールを開催します。県内小学校、中学校の児童生徒の皆さんの多くの応募をお待ちしています。



静岡県知事賞 小澤 響さん
作文朗読のようす



静岡県知事賞 小松 舞華さん



静岡県教育長賞 新井 夢菜さん



静岡県教育長賞 天野 心結さん



金賞 山田 花凜さん



銀賞 青島 和さん



学校賞
浜松市立北浜南小学校 城南静岡中学校



作文コンクール表彰式出席者記念撮影

■第12回「小さな親切」作文コンクール入賞・入選者

	賞	学校名	学年	名 前	題 名
小学生の部	静岡県知事賞	熱海市立多賀小学校	5年	小松 舞華	母は私のスーパーヒーロー
	静岡県教育長賞	菊川市立堀之内小学校	1年	新井 夢菜	わたしは小さなおまわりさん
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	浜松市立広沢小学校	5年	添田 慶	小さな親切
	金 賞	浜松市立白脇小学校	4年	大石 梨湖	心のお守り
	金 賞	浜松市立富塚西小学校	6年	高野 愛梨	私の中の感情
	金 賞	浜松市立豊岡小学校	4年	山田 花凜	「うけつがれる親切ヒーロー」
	銀 賞	浜松市立北浜南小学校	4年	鈴木 陽菜	あったか言葉をつなごう
	銀 賞	富士市立天間小学校	6年	坪井 優奈	協力し合う親切とは
	銀 賞	掛川市立横須賀小学校	6年	横山 七海	受け取る親切
	入 選	菊川市立堀之内小学校	5年	新井 陽菜	心を救う一言
	入 選	袋井市立笠原小学校	6年	大津 桃葉	助け合いの心
	入 選	浜松市立白脇小学校	6年	河原崎 綾太	電車の席
	入 選	浜松市立広沢小学校	3年	工藤 綾乃	わたしができた親切
	入 選	焼津市立焼津東小学校	6年	小宮 一朗	大きな消しゴム、小さな親切
	入 選	浜松市立和地小学校	4年	鈴木 統伍	親切のボタン
	入 選	浜松市立和田小学校	6年	鈴木 璃笑	小さな親切
中学生の部	静岡県知事賞	静岡大学教育学部附属浜松中学校	1年	小澤 響	ノクターンにのせて
	静岡県教育長賞	静岡県立浜松西高等学校中部	3年	天野 心結	繋ぐ
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	静岡県立浜松西高等学校中部	3年	伊藤 希恵	何気ない気遣い
	金 賞	湖西市立鷺津中学校	3年	加園 琥汰朗	「上手な親切をするために」
	金 賞	静岡市立長田西中学校	2年	鈴木 花奈	親切の形
	金 賞	静岡市立清水第八中学校	3年	高田 莉彩	小さな親切、大きなお世話
	銀 賞	静岡市立城内中学校	2年	青島 和	小さな親切を当たり前
	銀 賞	静岡県立浜松西高等学校中部	1年	西岡 倫可	思いやりであふれる社会
	銀 賞	静岡市立安倍川中学校	2年	向井 灯里	ベビーカステラ
	入 選	富士市立鷹岡中学校	1年	石川 緒音	親切の輪
	入 選	静岡市立城内中学校	3年	石原 羽琉	ありがとうとあたりまえ
	入 選	静岡市立蒲原中学校	2年	磯部 結羽	寄り添って
	入 選	富士市立鷹岡中学校	1年	今村 悠乃	親切のボタンをつないで
	入 選	静岡市立城内中学校	2年	籠谷 まい	チャンス
	入 選	富士市立須津中学校	1年	加藤 蒼葉	「笑顔の種」
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	2年	川島 温	少しの勇気
	入 選	学校法人日本体育大学浜松日体中学校	3年	菊池 藍衣利	姉から学ぶ親切
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	2年	木下 新菜	親切な心が架ける橋
	入 選	学校法人磐田東学園磐田東中学校	3年	小嶋 詩織	相手の気持ちに寄り添って
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	2年	小菅 晴琉	心に栄養を
	入 選	富士市立鷹岡中学校	3年	佐野 ここみ	旗振りのおじさん
	入 選	静岡市立清水飯田中学校	2年	鈴木 日葵	「言葉はなくても」
	入 選	学校法人加藤学園暁秀中学校	3年	中條 碧乃	「親切はつながる」
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	3年	中嶋 公誠	親切と偽善
	入 選	静岡市立清水飯田中学校	2年	中島 椿	思いやりは大切にすることではない
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	1年	畑田 桜	ほんの小さなことでも
	入 選	学校法人星美学園静岡サレジオ中学校	1年	増田 奈々緒	小さな親切
	入 選	静岡市立城内中学校	2年	松下 大河	僕が今一番伝えたいこと
	入 選	静岡県立浜松西高等学校中部	1年	水主 優	誰かのためになるのであれば
	入 選	浜松市立立進中学校	2年	宮本 翼牙	助けられた一日
	入 選	富士市立鷹岡中学校	1年	望月 侯志	親切ってなんだろう？
	入 選	富士宮市立大富士中学校	1年	山下 凪那	声をかける勇気
	入 選	湖西市立鷺津中学校	3年	若林 咲	「体験して気付いた事」

(敬称略)

■学校賞

	賞	学校名
小学生の部	学 校 賞	浜松市立豊岡小学校
	学 校 賞	浜松市立北浜南小学校
	学 校 賞	森町立森小学校
中学生の部	学 校 賞	学校法人磐田東学園磐田東中学校
	学 校 賞	伊豆市立修善寺中学校
	学 校 賞	城南静岡中学校

■作文コンクール作品集



3月に作品集を発刊し、県内の小・中学校などに配布しました。作品集には、入賞・入選作品51編と県本部の主な活動の紹介、実行章の推薦用紙が掲載されています。作品集を希望される方は事務局までご連絡ください。

青少年心の育成事業

2024年度指定あいさつ運動協力校活動報告

毎年県内の4地区であいさつ運動協力校(実践活動期間:2年間)の活動を応援しています。啓発グッズの横断幕やのぼり旗、タスキを贈り、各中学校区で小学生と中学生が力を合わせて、明るいあいさつの飛び交うコミュニケーション豊かな地域づくりに取り組んでいます。

2024年度からあいさつ運動に取り組んでいる15校の1年間の活動の様子をご紹介します。

静岡地区



富士市立鷹岡中学校

あいさつ運動を小中一貫教育の柱として実践を積み重ねました。児童生徒の意識を高めるため、生徒会がオンラインで小中合同あいさつ集会を企画して実践したり、小学校に出向きあいさつ運動を手伝うなど、意識を高めることで、みんなが関わり合う温かい雰囲気が満ちています。来年度も、あいさつの輪を広げ、お互い関わり成長する学校・地域を目指して取り組みを進めていきます。



富士市立鷹岡小学校

鷹岡中学校区3校のスローガンである「つながるあいさつ ひろがるえがお」の達成を目標に運動に取り組んできました。あいさつ安全委員会が全校にスローガンの説明やあいさつする意味を伝え、学校全体で取り組み、各クラスであいさつリーダーの設置やあいさつスタンプラリーの実施、児童会児童の学校運営協議会への参加など、活動に取り組むことで、進んであいさつできる子どもが多くなりました。



富士市立天間小学校

運営委員会が「あいさつレンジャー」に扮し、たすきを掛け、正門で元気にあいさつを行い、休み時間には天間小のキャラクターと校内を巡回し関心を引くことで、あいさつが自然に増えました。また、異学年と交流する機会を増やし、友達と関係を深める「トモコレ」や、各クラスがたすきを持って校内を回る「あいさつリレー」など、校内でのあいさつを強化し、地域に広がるあいさつを目指しています。

静岡市



静岡市立東中学校

生徒会企画「あいさつリレー」では、各学級のボランティア生徒が、月曜日の朝にあいさつ運動を行いました。毎回たくさんの生徒が集まり、元気あるあいさつでいっぱいになりました。また、生徒会執行部は年に2回、出身小学校を訪ね、児童会とあいさつ運動を行う「小中一貫あいさつ運動」にも取り組みました。その活動に各校のPTAも参加するなど、あいさつの輪が地域にも広がっています。



静岡市立千代田小学校

「あいさつは 私ができる 街づくり」をスローガンに、中学校区全体であいさつ運動に取り組みました。特別な行事として、小中一貫あいさつ週間を年2回設定し、東中生徒会執行部が小学校のあいさつ運動に訪問し、PTAや地域の方々といっしょにあいさつ運動を行い、笑顔で元気なあいさつを交わすことができました。あいさつ運動の様子は児童会が掲示物として展示するなど工夫して啓発しています。



静岡市立横内小学校

児童会本部を中心に元気あるあいさつを目指して活動に取り組みました。前期は本部役員があいさつの達人を見つけて校内放送で広め、後期は「あいさつキャップ企画」も開始し、良いあいさつを見つけて紹介することであいさつを広げました。また、各学級で、すごろくやポスター、あいさつ名人見つけなどオリジナルの活動を通して、楽しみながらあいさつの大切さを学びました。



静岡市立竜南小学校

竜南小では、2A(あいさつ・あんぜん)を大切にしています。朝は児童会役員が中心となって校内を回り、下級生も自作のたすきをつけてあいさつするなど、輪が広がっています。中学校との連携では、東中の生徒会役員が登校前に母校を訪れ、児童会役員といっしょにあいさつ運動をしています。今後もあいさつへの意識化から習慣化となるよう、地域全体でつながりを深めていきたいと考えています。

静西地区



袋井市立浅羽中学校

小中合同あいさつ運動を取り入れ、中学生は「小学生のお手本になろう」とさわやかなあいさつを心掛け、そのあいさつに小学生が元気に返すという好循環が生まれています。校内では、生活委員会が主体となり、「にっこりあいさつキャンペーン」を実施。さわやかなあいさつの声を学校中に響き渡らせたいという意欲あふれる生徒たちが自主的に参加し、明るい学校づくりに貢献しました。



袋井市立笠原小学校

本校では、「鼓湧教育」のもと、子どもたちの多様性を尊重し、安心して過ごせる環境づくりを第一に考えています。そのため、あいさつを含む言葉掛けを通して互いを認め合う活動の拡充に力をいれています。4月には、のぼり旗を使用したあいさつ運動がスタート。会礼では、校長があいさつ運動の様子と良さについて紹介しました。校門でのあいさつ運動を継続し、学校HPで伝えています。



袋井市立浅羽南小学校

児童が集う喜びを感じられる学校を目指し、「相手を意識してあいさつをする子」の育成を目標に設定して教育活動を行っています。毎朝のあいさつ運動では、計画委員会の児童が元気よくあいさつして登校班を迎え、気持ちよいあいさつができた子を昼の校内放送で紹介。名前を呼ばれた子は友達から褒められて喜び、その様子を見た周囲の子も嬉しそうなる表情になる、心温まる活動になりました。



袋井市立浅羽北小学校

あいさつを通してより良い人間関係を築いていくとともに、時と場に応じたあいさつや適切な言葉づかいを意識できる子の育成を目指し、朝、正門付近であいさつ運動を始めました。子どもたちからは、「あいさつをすると気持ちがいい」という声が聞かれ、中学校区で作ったスローガン「人と人をつなげる架け橋～広げよう挨拶の輪～」が、実感できるような活動にしていきたいと思っています。



袋井市立浅羽東小学校

青空委員会の児童が、月、水、金に正門でのぼり旗を持ち「朝のあいさつ運動」を行いました。さわやか委員会の児童は、月曜日の朝に各教室へ「あいさつ運動」を行い、元気なあいさつを返した学級を、昼の放送で称揚しました。また、2年生、5年生の担任や児童が自主的に正門や昇降口で元気よく声をかけ、あいさつの輪が広がりました。10月には浅羽中と合同であいさつ運動を行いました。

浜松市



浜松市立光が丘中学校

毎月20日に実施されている「杉の子の日」に合わせ、長年「あいさつ運動」を行ってきました。今年度は、これまで以上に力を入れ、保護者から協力を受け活動を活性化させました。生徒会執行部が主導して小学校へ出向き、学校前の横断歩道や昇降口付近であいさつ運動を行いました。生徒からは「中学生があいさつをすると小学生もあいさつしてくれ、明るい気持ちになれた」との感想もありました。



浜松市立光明小学校

毎月20日に光が丘中学校と合同であいさつ運動を行っています。中学生や地域の方が大きな声であいさつすると、小学生も大きな声であいさつを交わすようになり、あいさつの大切さが実感できました。また、各学級であいさつを広げる取り組みを考え実践。子どもたちのあいさつに対する意識が高まり、自らあいさつする児童が増えました。あいさつの輪が広がるよう今後も活動を継続します。



浜松市立横山小学校

毎月20日の「杉の子の日」に、地域関係団体の子ども見守り活動といっしょになって活動しました。本年度はPTAと連携して保護者も加わり、校門前でのあいさつ運動を展開しました。また、中学校区のスローガンとキャラクターが入ったポケットティッシュを作成。校外学習や講座でお世話になった方々にお礼とともに手渡したり、地域行政機関窓口においていただき、あいさつ運動をPRしました。

環境美化事業

第2回・第3回グリーン作戦の実施(10月～3月)

2024年度第2回グリーン作戦は、県内45会場で2,150人、第3回グリーン作戦は、県内60会場で1,853人の参加があり、河川海岸の活動や商店街、公園、駅周辺などの地域密着型の活動を行いました。



静岡市・駅南支部(2024.10.19)
広野海岸公園周辺の清掃



浜松市・雄踏支部(2024.10.20)
弁天島海浜公園「いかり瀬」の清掃



吉田町・吉田支部(2024.11.23)
吉田公園/チューリップの球根植え



東伊豆町・稲取支部(2025.1.25)
稲取文化公園～稲取海岸の清掃



浜松市・浜北支部(2025.1.25)
浜北駅周辺の清掃



磐田市・豊田支部(2025.1.25)
豊田かおりの公園の清掃



三島市・三島支部(2025.1.26)
白滝公園の清掃



静岡市・清水中央支部(2025.2.8)
清水駅の清掃



下田市・下田支部(2025.2.23)
伊浜山村活性化支援センター/レモンの植樹

福祉施設支援事業

車いす等寄贈と施設内奉仕活動

グリーン作戦の一環として、福祉施設の奉仕活動を行い、車いす等の寄贈も同時に行っています。今年は13会場、181人の参加がありました。奉仕活動は各施設のご要望を伺い、車いすの清掃、窓ふきなどを行いました。寄贈品は車いすのほか、介護する方々や利用者にとって必要な医療機器等を施設のご要望に沿って寄贈しました。



特別養護老人ホーム楽寿の園
車いす贈呈



静岡市・本店支部(2025.2.15)
特別養護老人ホーム楽寿の園
車いすの清掃、ガーゼたたみ、窓ふき



浜松市・三ヶ日支部(2025.3.9)
特別養護老人ホームみずうみ
施設の窓ふき

環境保全事業

里山づくり(植樹や森林整備の活動)

次世代に残す里山づくりを目指し、「未来の森サポーター」の一員として、静岡県の「森づくり県民大作戦」に参加する団体と連携して植樹や森林整備の活動を実施しています。下期は、15会場で488名の会員が参加しました。活動は植樹や下草刈り、枯れ葉集めなど幅広く、ご家族で参加される方々も多くいました。



御殿場市・御殿場支部(2024.10.12)
NPO法人土に還る木森づくりの会と連携
再生の森/下草刈り、植樹



熱海市・熱海支部(2024.10.26)
熱海キコリーズと連携
ATAMI Green field/ウッドデッキの防腐剤塗布



伊豆の国市・大仁支部(2024.11.24)
悠頂台くらぶと連携
悠久の森/檜の枝打ち、植樹



沼津市・原町支部(2025.2.1)
六軒町自治会と連携
千本保安林内/枯枝の集積



沼津市・沼津駅北支部(2025.2.8)
森と竹で健康クラブと連携
愛鷹運動公園/植樹



湖西市・湖西支部(2025.2.15)
湖西フロンティア倶楽部と連携
不動谷の森/除伐、下草刈り

環境保全事業

棚田保全活動

静岡県本部では、松崎町石部と菊川市倉沢せんがまちの棚田オーナーとなり、棚田保全活動に参加しています。下期は、2会場で116名が参加しました。地元保存会の方々の指導のもと、10月に稲刈りを行い、収穫したお米を児童福祉施設などへ寄贈しました。

また、「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」のオフィシャルサポーターとして、HPやSNS等で棚田の保全活動などについて周知活動を行いました。

■石部棚田(2024. 10. 5 松崎町・松崎支部)



■せんがまち棚田(2024. 10. 26 菊川市・菊川支部)



聖和保育園でのお米の贈呈式(2024.12.3)



東遠学園でのお米の贈呈式(2024.12.25)

支援活動

支援活動の一環として、自然災害の被災地・被災者を支援する団体や、県民・子どもたちのために活動している団体等へ寄附を行いました。

● 静岡県内で活動するボランティア団体等へ継続的に支援

被災地のボランティア活動等を推進している「静岡県ボランティア協会」、自殺防止の最前線で多数のボランティアが活動する「静岡いのちの電話」「浜松いのちの電話」、子どもたちが安心・安全な環境で健やかに成長するための活動を支援している「子どもの居場所応援基金（静岡県）」、盲導犬不足解消のため繁殖機能を有する盲導犬の里「富士ハーネス」（公益財団法人日本盲導犬協会）へ、合計95万円の寄附を行いました。

静岡県 ボランティア協会	静岡いのちの電話	浜松いのちの電話	子どもの居場所 応援基金（静岡県）	盲導犬の里 富士ハーネス
20万円	20万円	20万円	20万円	15万円

心の国際交流事業（収集活動）

書き損じハガキ・ベルマーク・使用済切手

静岡県本部では、書き損じハガキ・ベルマーク・使用済切手の収集活動を行っています。
収集活動はどなたでも気軽にできるボランティアです。皆さんからのご送付をお待ちしております。



株式会社中央工芸 静岡支社の皆さま

私たちは社会貢献の一環として、「小さな親切」運動に参加し、使用済み切手とベルマークの収集に取り組んでいます。
途上国への支援に少しでも貢献できると幸いです。今後とも、継続して活動を行ってまいります。



書き損じハガキ

書き損じハガキは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ贈り、途上国の幼児教育における質の改善事業に活用されます。2024年度は、4,559枚（119先）を集めることができました。

収集の注意点

- ① ハガキの裏や表を書き損じた、あるいは未使用のハガキで、未投函のものが対象です。
- ② ハガキに住所や名前の個人情報の記入がある場合は、必ずマジック等で塗りつぶしてください。
- ③ 切手部分に汚損があるものは対象外です。

ベルマーク

ベルマークは、オイスカ浜松国際高等学校のベルマーク預金を通じて、途上国の植林と環境教育支援に活用されます。2024年度は244先よりお送りいただきました。
仕分け作業や集計作業は必要ありませんので、切り取ったベルマークを袋に入れてお送りください。

使用済切手

使用済み切手は、特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターに贈り、途上国の農業支援など、国際協力活動のサポートに活用されます。2024年度は111kg（526先）の収集ができました。

収集の注意点

- ① 切手のまわり5mm程度の余白を残してください。
- ② 切手が複数枚の場合はまとめて切り取ってください。
- ③ 封筒の裏側は切り取り、表面だけを送ってください。
- ④ 紙から切手を剥がさないでください。
- ⑤ 日本の切手と、外国の切手に分けてください。
- ⑥ 以下のものは収集対象外です。
 - ・破れている切手
 - ・まわりのギザギザが欠けているもの
 - ・セロハンテープが貼られている切手
 - ・メータースタンプ、料金後納や別納
 - ・消印以外の汚れがある切手
 - ・折り目がある切手



静岡銀行本・支店窓口へお持ちいただく場合

封筒などに入れ、宛名を「小さな親切」運動静岡県本部行きとし、窓口係へお渡しください。

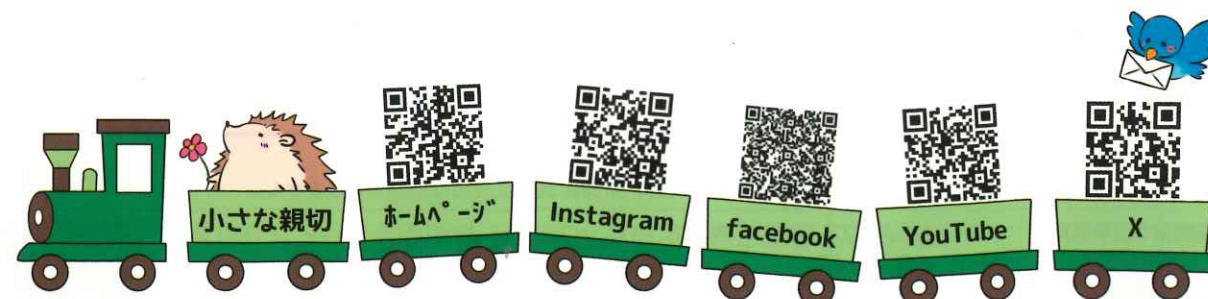
事務局へ郵送する場合

封筒などに入れ「ご住所、お名前」をご記入のうえ、「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。

広報活動

広報誌、SNS（ホームページ、Instagram、Facebook、YouTube、X）の活用

県本部だよりといった広報誌の他、ホームページやInstagram、Facebook、YouTube、Xを活用し、SNSでの情報発信も行っています。YouTubeでは、作文コンクール受賞者の朗読を収録し配信もしています。





「小さな親切」実行章推薦用紙



応募期限はありません。いつでもご推薦ください。

推薦日 年 月 日

[illegible]

キリトリ線

推薦者

氏名	住所 〒 ー	
TEL :		FAX :

実行章の贈呈方法について（希望方法のいずれかに○印をおつけください）

1. 推薦者から贈呈	2. 受章者宛に直送	3. 「小さな親切」運動静岡県本部から贈呈
------------	------------	-----------------------

＜個人情報取扱について＞

推薦用紙に記入された個人情報、**「小さな親切」運動の活動（含、新聞掲載）以外には使用いたしません。**

後援：静岡県

【静岡県本部事務局】



〒424-8677 静岡県清水区草薙北2番1号 静銀総合サービス(株)内
TEL.054-347-3712 FAX.054-344-0401
ホームページアドレス <http://www.across.or.jp/kindness/>



本誌に使用の新聞記事・写真などは、各新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製、送信、出版、頒布、翻案等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

